観光文化論 I

科目ナンバリング　SOC-203
選択　　2単位

権　赫麟

1. 授業の概要（ねらい）

現代観光は、経済的に大きな位置を占める産業であると同時に、現代社会の文化的状況が構築される上で重要な役割を果たす社会現象でもあります。本講義では、必ずしも産業論に拠らない観光への視点を重視し、多様な文化的背景を持つ人々が交流する観光現象の意味を正しく理解するため異文化コミュニケーションの諸理論を学習した上で、食文化の観点から観光の場における文化の多様性を検討します。

2. 授業の到達目標

・観光文化論の基本的な視座を理解すること
・観光における異文化交流の意味を把握すること
・「食」の観点から文化の多様性を理解すること

3. 成績評価の方法および基準

平常点20%、中間試験20%、期末試験60%を原則とします。
授業への積極的な参加は平常点として成績に反映されます。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

多様な観光現象を文化的な観点から見つめる習慣を身につけるように努力すること

6. その他履修上の注意事項

観光文化論Iと観光文化論II両方の履修が望ましいです。
授業中の私語及び雑談は禁止とします。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション：「観光と文化」を考える
【第2回】　グローバル社会と異文化コミュニケーション
【第3回】　グローバリゼーションとアイデンティティ①：多文化社会と多面的アイデンティティ
【第4回】　グローバリゼーションとアイデンティティ②：グローバリズムとポリティカル・コレクトネス
【第5回】　異文化接触①：カルチャーショックと異文化適応のプロセス
【第6回】　異文化接触②：グローバルコミュニケーションの障壁
【第7回】　言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
【第8回】　中間まとめと中間試験
【第9回】　観光における食文化の重要性
【第10回】　「食」の多様性①：日本からみる世界の食文化
【第11回】　「食」の多様性②：思想・宗教とこれからの食生活
【第12回】　世界の食文化に関する考察：韓国の食文化①
【第13回】　世界の食文化に関する考察：韓国の食文化②
【第14回】　観光と文化をめぐる議論（オンライン授業）
【第15回】　講義のまとめと期末試験